教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 景観建築学科　　資格： 准教授　　氏名： 森本　順子

研究分野	研究内容のキーワード
建築設計,建築計画	村野藤吾の建築作品に関する研究（意匠論）
学位	最終学歴
博士（建築学）,修士（工学）,学士（工学）	武庫川女子大学大学院　生活環境学研究科　建築学専攻　博士後期課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.建築一般構造Ⅱにおけるディテールの理解を深めるための取り組み	2014年4月～現在	建築一般構造Ⅱでは、矩計図の作図を最終目的とし、建築のディテールや材料についてより具体的に理解できるように、毎回、異なる建築部位の詳細図の解説を行っている。さらに授業では、解説を行った建築部位の詳細図の作図を課し、学生自らが実際に手を動かして図面を作成することで、授業内容への理解を深め、各自の設計にも生かすことができるようにしている。
2.建築設計実務における実際のプロジェクトへの参画	2014年4月～現在	大学院修士課程「建築設計実務」では、学生が武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオ（一級建築士事務所）を拠点として学外のプロジェクトに参画し、実務訓練を行っている。これまで、阪神電車鳴尾駅・駅舎新築工事（2014～2017年年度）、バーミヤーン平和博物館（2015年度）、旧甲子園ホテルの家具の復元（2016年度）、就活シェアハウスのモザイクタイル画制作（2016年度）などを実施した。2017年度は、大学対抗建築コンペ「エネマネハウス2017：学生が考える実現可能な一次エネルギー消費量ゼロの家」を課題に取り上げ、応募したところ、実際にモデルハウスを建築する事業者として採択された。うめきたサザンパークに省エネ住宅を建築し、一般に公開した。演習では、図面や模型の作成、シミュレーション、施工者など多くの専門家との協働の仕方などを実地で学び修得する。またモデルハウスを使った実証実験を通して理論と事象を検証する。朝日エティック株式会社からの依頼で、2016年度より同企業のグループ会社・株式会社エティックテクノ大阪 大阪工場敷地内に従業員のための憩いの場となる庭園を設計、2017年度は植樹などの造園を体験した。2018～2021年度は景観建築学科の校舎新築工事、および建物外壁のために甲子園会館の150角装飾タイルを調査・再現し、建築学科で約7400枚を制作するプロジェクトを実施した。
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.エネマネハウス2017　統括事業代表者	2017年4月～2018年2月	大学と民間企業等の連携により、先進的な技術や新たな住まい方を提案するZEHのモデル住宅を実際に建築し、住宅の環境・エネルギー性能の測定・実証や、展示を通じた普及啓発を行うプロジェクト。
2.武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 共催 東京センター　講演会シリーズ「シルクロードの文化と建築」　企画・運営	2015年2月28日～2019年5月18日	本講演会シリーズでは、シルクロードを通して行われてきた、わが国と地中海を結ぶはるかにダイナミックで長い歴史の異文化交流とその文化遺産保護活動について考える。
3.武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻 主催 / 共催 東京センター　講演会シリーズ「わが国の近代建築の保存と再生」　企画・運営	2011年6月4日～2020年1月11日	国登録有形文化財指定を受けた甲子園会館（旧甲子園ホテル）を大学の校舎として、また建築学科の教材として活用していることから、本講演会シーズでは、豊かな都市環境の在り方について考える。
4.一級建築士	2009年3月3日	免許取得
4 その他		
1.甲子園会館ライトアップ	2015年～現在	イベント企画・運営

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
2.大阪木材仲買会館における学生の作品展示	2015年～2023年	光のデザインのフィールドワークとして実施されるライトアップイベントおいて実施される催し物の企画・運営を担当。 展示企画 大阪木材仲買協同組合からの依頼により、毎年、学部2年生の木造の課題（クラブハウス・住宅）を中心とした学生の模型作品を展示。その企画・展示、説明パネル作成を担当。
3.建築学科パンフレット制作	2014年～現在	企画・制作 建築学科を紹介するパンフレットについて、掲載記事の企画、紙面の作成などを担当。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.一級建築士	2009年3月3日	免許取得
2 特許等		
1.開閉断熱建具システム	2018年8月21日	岡崎甚幸，森本順子，宇野朋子，猪股圭佑，山口 彩 特許願、出願番号2018-154837
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		
1.くすのき建築文化賞コンクール特別賞	2023年4月	「景観建築スタジオ西館」にて兵庫県建築士事務所協会第15回くすのき建築文化賞コンクール特別賞を受賞
2.日事連建築賞（奨励賞・一般建築部門）	2022年10月	「景観建築スタジオ東館」にて令和4年度日事連建築賞（奨励賞・一般建築部門）を受賞
3.エネマネハウス2017　依託事業者として採択	2017年6月21日	エネマネハウス2017事務局主催 統括事業代表者
4.慰霊碑デザインコンペティション（千鳥ヶ淵戦没者墓苑内）佳作	2009年11月24日	独立行政法人平和祈念事業特別基金主催
5.第30回hiroba作品賞：「暮雪荘」	2005年12月5日	近畿建築士会協議会主催 設計・監理 主担当
6.（仮称）金津創作の森センター施設プロポーザルコンペ　デザイン賞	1996年11月24日	福井県金津町主催
7.1995年度競技設計課題「テンポラリー・ハウジング」入選	1996年5月28日	日本建築学会主催

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1.村野藤吾の建築作品における複曲面に関する研究	単	2014年3月	武庫川女子大学大学院	
3 学術論文				
1.Kisekae House: Movable Building Devices and Lifestyle（査読付）	共	2018年12月	PLEA (Passive LowEnergy Architecture) 2018 conference Proceedings	Tomoko Uno, Junko Morimoto, Shigeyuki Okazaki, Aya Yamaguchi, Keisuke Inomata 大学院建築学専攻では2017年度の「建築設計実務Ⅰ・Ⅱ」の演習において修士課程1・2年の19名が、「エネマネハウス2017」に取り組んだ。提案したZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）の概要、省エネルギーを可能にするキセカエアイテムの紹介、環境技術面での結果などについて報告する。
2.Design of Hanshin Electric Rai lway Naruo Station with Plank Sheets（査読付）	共	2017年01月	Intercultural Understanding Vol.6, pp.23～30	岡崎甚幸，川口衛，田川浩之，杉浦徳利，猪股圭佑，森本順子，山口彩 阪神電車鳴尾駅における、プランクシートをシェルの構造体として用いるために行った構造実験とそれにより最低限の部材によって構成された駅舎の設計について報告した。下地材が不要なプランクシートによって壁と天井が一体となり、階段やエスカレーター、エレベーター、サインなどが乗降客に対して記号としてくっきりと浮

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
				かび上がって見える駅舎空間を実現した。
3.村野藤吾の建築作品の外形にみられる複曲面の特徴（査読付）	単	2014年2月	日本建築学会計画系論文集 Vol.79, No.696, pp.543-551	村野藤吾の4つの建築作品における曲面の構成要素を設計図から調査し、関数のグラフと重ね合わせることで近似し、曲面の断面線の形を数式化する。
4.村野藤吾の設計研究〈その2〉-住宅作品における平面構成-	共	1998年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集.計画系(38), pp.833-836	森本順子，西村征一郎（京都工芸繊維大学名誉教授） 平成10年度京都工芸繊維大学大学院修士論文に基づく。村野、森建築事務所の設計図から住宅作品の図面内容を調査し、アプローチ空間や諸室の構成、ゾーンの区分についての変遷や設計手法の分析。
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
1.景観建築スタジオ西館　-武庫川女子大学景観建築学科新校舎その3-	共	2022年9月	日本建築学会大会，学術講演梗概集，建築デザイン，pp.20～21	田中佑奈，岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，猪股圭佑，森本順子，山口彩，船戸理磨子 景観建築スタジオ西館の設計、授業における指導 本稿では、「景観建築スタジオ西館」の設計プロジェクトについて報告した。「西館」は、甲子園会館と樹林で遮られたキャンパスの西端、既存建築の建築スタジオと向かい合う場所に位置している。建築スタジオのプレキャストコンクリートによる軽やかさや全面ガラスの透明感を生かしたデザインを踏襲しつつ、曲面を生かした造形を追加することで、プレキャストコンクリートの新たな可能性を追求した。建築学研究科の大学院生は、演習科目「建築設計実務」の中で「西館」の設計や現場監理、外部空間（石垣や植栽）の計画などに参加した。
2.景観建築スタジオ東館　その2　-武庫川女子大学景観建築学科新校舎その２-	共	2022年9月	日本建築学会大会，学術講演梗概集，建築デザイン，pp.18～19	船戸理磨子，岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，猪股圭佑，森本順子，山口彩，田中佑奈 景観建築スタジオ東館の設計、授業における指導 本稿では、「景観建築スタジオ東館」の内部における室内装飾や家具、庭園について報告した。建物の前には作業や団欒ができるテラスがあり、南側には砕石敷を海に見立てた回遊式庭園を作庭した。庭園では海の向こうに島並が見える風景を造り、その中に石橋や車石を据え、滝石組みを設けた。学生たちはここで植物の知識や伝統的な造園技術を修得する。建築学部では、校舎だけではなく、建物の周囲の庭などを含め、キャンパスすべてが「生きた教科書」となる。
3.景観建築スタジオ東館　-武庫川女子大学景観建築学科新校舎その1-	共	2022年9月	日本建築学会大会，学術講演梗概集，建築デザイン，pp.16～17	山口彩，岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，猪股圭佑，森本順子，田中佑奈，船戸理磨子 景観建築スタジオ東館の設計、授業における指導 2020年4月、武庫川女子大学・建築学科と大学院・建築学専攻に、景観建築学科と景観建築学専攻を新たに加え、建築学部と建築学研究科を開設した。それら新学科のための校舎「景観建築スタジオ東館」を建設、建築学部の教員が所属する一級建築士事務所「武庫川女子大学　建築・都市デザインスタジオ」が設計・監理を行った。新校舎は、景観建築学科の学舎の一つとして旧甲子園ホテルの傍らに建つ。建築学研究科のカリキュラムでは建築実務の演習科目があり、大学院生は設計や現場監理、また建物周囲の庭園の計画（石組み、植栽計画など）に参加した。
4.ランドスケープ作品選集 No.15	共	2020年3月	公益社団法人日本造園学会 発行，pp.130-131，p.152	岡﨑甚幸，山口 彩，森本順子，猪股圭佑 武庫川女子大学 建築・都市デザイン事務所（一級建築士事務所）で設計・監理を行った「朝日エティック株式会社 大阪工場 庭園」における設計概要や「建築設計実務」での演習内容を発表した。審査員による現地審査の選考を通過。
5.KISEKAE HOUSE Communication generation with environment and neighbors	共	2018年10月	ISAIA 2018 : Confluence of Architecture in the Age of Super Connectivity	上原陽，岡﨑甚幸，宇野朋子，森本順子，杉浦修史，猪股圭佑，山口彩 Academic Sessions にて口頭発表、「Excellent Research Award」を受賞 大学院建築学専攻では2017年度の「建築設計実務Ⅰ・Ⅱ」の演習において修士課程1・2年の19名が、「エネマネハウス2017」に取り組

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				んだ。提案したZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）の概要、省エネルギーを可能にするキセカエアイテムの紹介、実証実験の結果などについて報告する。
6.キセカエハウスのプロジェクトを通した環境教育	共	2018年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集D-2，pp.333～336	宇野朋子，森本順子，岡﨑甚幸，杉浦修史，猪股圭佑，山口彩 「キセカエハウス」は、学生対抗建築コンペ・エネマネハウス2017で大学院建築学専攻が提案したZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）である。プロジェクト全体を通して、環境教育における学生の取り組みと成果について報告する。
7.キセカエハウス ー住み継ぎを可能にするしつらえー	共	2018年9月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.74～75	大原こころ，池澤萌子，上原陽，江口知里，神本希美，永田瑞季，野村侑子，吉住春香，岡﨑甚幸，杉浦修史，宇澤善一郎，森本順子，宇野朋子，猪股圭佑，山口彩 「インテグレイティブZEHデザイン（エネマネハウス）」部門にて優秀賞を受賞 大学院建築学専攻では2017年度の「建築設計実務Ⅰ・Ⅱ」の演習において修士課程1・2年の19名が、「エネマネハウス2017」に取り組んだ。2017年度のテーマである“LIFE DESIGN INNOVATION” ～住まい・コミュニティに多様な新しい価値を創造する～ に対する提案について報告する。
8.キセカエハウス ー伝統的住環境技術を用いた対話のしつらえー	共	2018年9月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.72～73	川崎祐華，井ノ口果穂，帯辺菜穂，田中佐弥，堀内環美，田村早帆，前田真季，野﨑奈緒美，佐々木みなみ，岡﨑甚幸，杉浦修史，宇澤善一郎，森本順子，宇野朋子，猪股圭佑，山口彩 「インテグレイティブZEHデザイン（エネマネハウス）」部門にて優秀賞を受賞 大学院建築学専攻（2017年度・修士課程1・2年生19名）が提案した「キセカエハウス」は、住み心地がよく、家族や地域と積極的な交流を生むZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）である。本提案では、“住まうこと”とは、住まい手自らが自然環境やライフスタイル、地域との繋がりに応じて住宅をつくりかえてゆくことと考え、伝統的住環境技術を用いた「変化するしつらえ」によって省エネを実現した。しつらえのアイデアや環境制御の方法や結果について報告する。
9.朝日エティック株式会社 大阪工場 庭園	共	2018年9月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.412～413	山口彩，岡﨑甚幸， 森本順子，猪股圭佑 2016年5月に朝日エティック株式会社より同社大阪工場敷地内に従業員のための庭園の計画を依頼された。2016～2017年にかけて大学院「建築設計実務Ⅰ・Ⅱ」の演習課題として取り上げ、発注者や施工者と産学連携で取り組んだ。2017年度は、修士課程1・2 年の18 名の学生が庭園の詳細設計を行い、造園会社の協力を得て造成工事および植樹を体験した。庭園のコンセプトや計画内容について報告する。
10.尼崎の工場敷地内 庭園計画 その1	共	2017年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.154～155	磯上奈穂美，奥田まり，平嶋奈弥，岡﨑甚幸，猪股圭佑，森本順子，山口彩 朝日エティック株式会社大阪工場敷地内庭園の設計、授業における指導 兵庫県尼崎市に工場を構える、朝日エティック株式会社の工場敷地内の一角に、従業員が安らげる庭園を計画する。対象敷地は沿岸部の埋立地で、海風がきつく、時より突風が吹くなど植物にとって気候条件の厳しい地域である。設計に先立って、クライアントが持っている天龍寺のモミジの苗木を植えたい、従業員と花見をしたいなどの要望があり、さらにこの敷地の一部に２台分の駐車場も含めることが設計条件であった。それらを踏まえて、本設計では日本の回遊式庭園となるようにデザインを行った。
11.尼崎の工場敷地内 庭園計画 その2	共	2017年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.156～157	奥田まり，磯上奈穂美，平嶋奈弥，岡﨑甚幸，猪股圭佑，森本順子，山口彩 朝日エティック株式会社大阪工場敷地内庭園の設計、実務演習における指導 本計画は朝日エティック株式会社の大阪工場敷地内に庭園を設計するものである。植栽計画ならびに照明計画の概要、庭園灯の設計について述べる。本計画では、庭園が四季折々の表情を見せるよう植物の選定、配置を行った(図1、図6)。また、オオシマザクラ・モミ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				ジ・アラカシといった中・高木をシンボルツリーとして配置し、その周りに歩行空間や人が集い、憩うための空間を計画した。季節毎に表情を 変える植物の見どころを存分に際立たせつつ、庭園に適当な明るさを与えるような照明計画を行った。
12.阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 その1	共	2017年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.410～411	吉野有里恵，山口彩，ボズクルツベイザヌル，岡﨑甚幸，川口衛，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，杉浦徳利 阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、実務演習における指導 武庫川女子大学の玄関口である阪神電車鳴尾駅のプロジェクトにおいて、詳細図やCGパース、模型を作成し、コストや施工方法にも配慮したディテールを検討し、外観やホーム、コンコースなどのデザインを提案した。打合せでは、作成した図面や模型を用いて学生自らがプレゼンテーションを行っている。2015年3月に阪神電車鳴尾駅下りホーム、2017年3月に上りホームが完成した。本稿ではプランクシートを用いたことにより最低限の部材によって構成された駅舎空間の設計について報告する。
13.阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 その2 プランクシートの表面温度計測および構造実験	共	2017年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.412～413	山口彩，吉野有里恵，ボズクルツベイザヌル，岡﨑甚幸，川口衛，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，杉浦徳利 阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、実務演習における指導 プランクシートをシェルの構造体として用いるために行った表面温度計測試験や構造実験の概要、現場での施工について報告する。下地材が不要なプランクシートによるプラットホーム上屋では、階段やエスカレーター、エレベーター、サインなどが乗降客に対して記号としてくっきりと浮かび上がって見える。今回の設計を通して、建築材料、特に仕上材や構造材としては一般的でないプランクシートの有効性を示し得た。阪神電車鳴尾駅におけるプランクシートを構造体として使用し、最低限の部材によって壁と天井が一体の空間を構成する手法は、駅舎など記号性が求められる建築の設計に有効であろう。
14.阪神電車鳴尾(武庫川女子大前)駅 その3 上りホーム床モザイクタイル画のデザイン	共	2017年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.414～416	ボズクルツベイザヌル，吉野有里恵，山口彩，岡﨑甚幸，川口衛，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，杉浦徳利 阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、実務演習における指導 武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオおよび同大学院 建築学専攻 修士課程1・2 年生の9 名は、阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅 上りホーム床のモザイクタイル画10 点を制作した（2016年度後期に実施）。モザイクタイル画のテーマ決定から、図案検討、現場で施工する一段階前のシート貼りまでの作業について報告する。
15.旧甲子園ホテルの酒場のテーブルの復元	共	2016年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.396～397	今川泰江，伊藤知夏，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口彩 実務演習における指導 旧甲子園ホテルの酒場の椅子に引き続き、テーブルについても復元を試みた。酒場のテーブルは、椅子とセットで設えられており、旧甲子園ホテルの内部空間を研究する上で重要と考える。
16.旧甲子園ホテルの酒場の椅子の復元	共	2016年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp.394～395	伊藤知夏，今川泰江，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口彩 実務演習における指導 甲子園ホテルは、フランク・ロイド・ライトの愛弟子である遠藤新の設計により1930（昭和5）年に竣工した。本プロジェクトでは、甲子園ホテル時代の写真をもとにそこで使用されていた家具の復元を行い、当時の室内空間の再現を試みた。そのデザインの着想は、甲子園ホテルの建物のデザインを意識し、その特徴を反映させていると推察する。今後、甲子園ホテルの装飾について研究する上でも重要と考え、酒場で用いられていた椅子を復元した。
17.阪神電車鳴尾駅の自由通路の柱における	共	2016年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表	髙田悠希，今治こみ加，尾崎綾，谷なつき，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口彩

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
モザイクタイル画の制作方法の提案			梗概集G-1，pp. 402～403	阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、実務演習における指導 阪神電車鳴尾駅の自由通路の柱を題材に、まちの歴史的風景として「鳴尾の一本松」をモザイクタイル画で描く。本稿ではモザイクタイルでの表現方法や柱のディテールについて提案した。
18.阪神電車鳴尾駅の歴史的風景としての「鳴尾の一本松」の絵の提案	共	2016年8月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp. 400～401	今治こみ加，髙田悠希，尾崎綾，谷なつき，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子，山口彩 阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、実務演習における指導 阪神鳴尾駅自由通路内中央の柱（高さ4700 ㎜、一辺1100㎜）に武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ一級建築士事務所と同大学院建築学専攻修士課程１年による一本松のモザイクタイル画を提案した。この柱は駅改札口前の中央、最も人通りの多い場所にある。街のシンボルとするのにふさわしい場所と考え、この柱に地域の歴史的風景である「鳴尾の一本松」の絵を施すことを検討してる。
19.阪神電車鳴尾駅におけるモザイクタイル画のデザイン	共	2015年9月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集G-1，pp. 252～253	中村優花，中野沙耶，岡﨑甚幸，宇澤善一郎，猪股圭佑，森本順子 阪神電車鳴尾（武庫川女子大前）駅の設計提案、実務演習における指導 兵庫県の都市計画事業である「阪神本線西宮市内連続立体交差事業（鳴尾工区）」により、武庫川女子大学の最寄駅である鳴尾駅（下り駅舎）が高架化された。2015 年3 月に下りホームが完成し、そのプラットホームに武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ一級建築士事務所と同大学院建築学専攻修士課程1 年の7 名のデザインによる13 のモザイクタイル画が設置された。モザイクタイル画の図案制作だけでなく、タイル一つ一つを図案通りに配列し、現場で施工する一段階前の300角シート貼りまでの作業を行った。
20.大阪ビルディング本館の北東角軒部分の保存について	共	2012年9月	日本建築学会2012年大会	森本順子，岡﨑甚幸（教授・建築学科長） 建築アーカイブの事例としての大阪ビルディング本館の北東角軒部分の保存方法と、建物外壁に使用されていたレンガやテラコッタについての調査報告。
21.村野藤吾の設計研究〈その2〉-住宅作品における平面構成-	共	1998年7月	日本建築学会近畿支部 平成10年度研究発表会	森本順子，西村征一郎（京都工芸繊維大学名誉教授） 平成10年度京都工芸繊維大学大学院修士論文に基づく。村野、森事務所の設計図から住宅作品の図面内容を調査し、アプローチ空間や諸室の構成、ゾーンの区分についての変遷や設計手法の分析。
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1.景観建築スタジオ東館、景観建築スタジオ西館	共	2018年4月～2021年3月	武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオ（一級建築士事務所）	基本設計、実施設計、工事監理の一部を担当。 景観建築スタジオ東館：2021年3月竣工、景観建築スタジオ西館：2020年12月竣工 所在地：西宮市戸崎町 用途：大学 構造：地上2階　鉄筋コンクリート造、鉄骨造（景観建築スタジオ東館）、地上3階　鉄筋コンクリート造（景観建築スタジオ西館）敷地面積：35625.77㎡　延床面積：1087.68㎡（景観建築スタジオ東館）、延床面積：2669.20㎡（景観建築スタジオ西館） キャンパスの自然と建築が融合し、豊かな景観を創生する設計教育と研究を行う。
2.キセカエハウス　－伝統的住環境技術を用いた対話のしつらえ－	共	2017年4月～2018年2月	エネマネハウス2017	ZEH・モデル住宅/統括事業代表者、設計・現場監理 「月刊SmartHouse №31(2017.09)」「月刊SmartHouse №32(2017.10)」「月刊SmartHouse №36(2018.02)」「住宅建築(2018.04)」「新建築(2018.02)」「新建築住宅特集(2018.02)」「建築技術（2018.05）」「エネルギーフォーラム(2018.02)」「ビランク(2017.11)」掲載 大学と民間企業等の連携により、先進的な技術や新たな住まい方を提案するZEHのモデル住宅を実際に建築し、住宅の環境・エネルギー性能の測定・実証や、展示を通じた普及啓発を行うプロジェクト。居住者が、季節や毎日の天候、ライフスタイルに合わせて断熱建

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
				具、通風建具、ロールスクリーン、可動間仕切りを自由に可変し、日射量（温熱環境）、間取り、外部からの視線などを調整することで、自ら快適な住環境を作り出せるネット・ゼロ・エネルギー・ハウスを提案。
3.甲子園口商店街「和空間 たしなみ」店舗の内装デザイン	共	2016年10月～2017年2月		店舗（内装）/設計・現場監理 甲子園口商店街にある店舗付き住宅の1階部分を改装。飲食店の内装デザイン。
4.上甲子園キャンパス庭園灯のデザイン	共	2016年9月～2017年11月		照明器具デザイン 電球型LED照明を使ったポール型の庭園灯のデザイン。株式会社朝日エティックとの共同制作。
5.尼崎の工場敷地内 庭園計画	共	2016年5月～2018年2月	株式会社朝日エティック	庭園デザイン/設計・現場監理・施工（植樹） 尼崎の埋め立て地にある工場敷地内の緑地に、従業員の休憩スペースとなる庭園の設計。
6.就活シェアハウス「CREWSO」外壁のモザイクタイル画制作	共	2016年1月～10月	株式会社ディーマン	外装デザイン/設計・図案制作・現場監理 就活シェアハウスの西側外壁面に設置するモザイクタイル画の制作。
7.旧甲子園ホテル 酒場の家具の復元	共	2015年9月～2016年2月		家具/図面作成・制作監理 甲子園会館・アートショップの家具更新ため、旧甲子園ホテル時代に使用されていた椅子とテーブルを復元。家具図面の作成と製作監理。
8.ペトラ博物館	共	2012年8月～2013年8月	JICA(国際協力機構)、東京文化財研究所	博物館/設計・模型・報告書作成 JICA（国際協力機構）が支援を行っている世界遺産ペトラ（ヨルダン）における博物館の設計。東京文化財研究所との共同企画。
9.バーミヤーン博物館 BAMIYAN MUSEUM & CULTURE CENTER FOR PEOPLE	共	2012年6月～2013年12月	ユネスコ、東京文化財研究所	博物館＋カルチャーセンター/設計・模型・報告書作成 ユネスコから委託を受け、東京文化財研究所と共同で企画。世界遺産バーミヤーン（アフガニスタン）における考古学資料等の展示・保管・研究を行う博物館と地域住民に開かれたカルチャーセンターの設計。
10.阪神電車鳴尾駅	共	2012年4月～2018年3月	阪神電気鉄道株式会社，共同設計	外観及び内観デザインなどの設計提案を行っている。 2015年3月14日に下りホーム、2017年3月18日に上りホームが竣工。 所在地：西宮市里中町3丁目 用途：駅 構造：地上2階　鉄骨造 駅舎の空間が基本的に備えるべき特質である記号性を追求し、波型鋼板を用いて、単純、均質な空間を構成した。階段や改札口、エスカレータ、エレベーター、サインなどが他に邪魔されることなく、くっきりと浮かび上がって見える必要があるため、屋根を支える梁や小梁、照明や通信のための配管などが眼に入らないように、下地材や仕上げ材が一切不要な波型鋼板のディテールを検討した。壁と屋根面が一体となった曲面による空間の中に、上り、下りそれぞれのホーム階を包み込む。これにより、先端技術の象徴でもある、高速走行する電車に良く調和した、流動的でダイナミックな駅舎空間ができあがる。
11.武庫川女子大学 トルコ文化研究センター シルクロード建築文化展示室 （セラミック室）	共	2011年9月～10月		展示室/展示計画 甲子園会館内に開設されたシルクロード建築文化展示室の一室で、イランを中心とした装飾タイルを展示。展示の企画及び、陳列の施工を担当。
12.新総合資料館(仮称)建設工事基本・実施設計業務に係る公募型設計競技	共	2011年5月～6月	京都府　主催	資料館/設計 京都府の新総合資料館（仮称）建設工事に関する設計競技に武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオから設計計画案を応募。資料館の平面計画および計面案の作図を担当。
13.建築スタジオ・ラウンジ椅子	共	2009年12月～2010年2月		家具/図面・原寸模型作成 上甲子園キャンパス・建築スタジオのラウンジの座席増加のため、岡崎教授デザインのひじ掛け付ラウンジチェアの図面と原寸模型の作成を担当。
14.トルコ・バフチェシヒル大学内　日本文	共	2009年10月～2010年6月		展示室・茶室/設計・模型制作・現場監理 トルコ・バフチェシヒル大学内に開設された日本文化研究センター

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
化研究センター・茶室				の設計。同大学所有のビル1階内部に、床の間のある座敷と展示台の設計及び模型制作、現地での現場監理を担当。
15.特別養護老人ホーム　力合つくし庵	共	2005年9月～2007年1月	福祉法人三顧会・熊本市高齢福祉課	福祉施設/設計・現場監理 隣接する老人病院と連携し、ショートステイやデーサービスを併設した特別養護老人ホーム（入所者60名）の実施設計及び現場監理を担当。大阪市立大学・上田博之准教授（元・いるか設計集団）を中心とした設計チームとの共同プロジェクト。
16.生野南部地区改良事業地区生野東住宅(B1・2地区)新築工事＋ガイドライン作成	共	2003年9月～2004年12月	大阪市住宅局建設部	集合住宅/設計 大阪市生野南部地区の老朽木造住宅の密集地域における改良住宅（大阪市営住宅）の設計。また建設が予定されている改良住宅について、地区全体の建築ガイドラインの策定。IAO竹田設計との共同プロジェクト。
17.学園前の家・新築工事	共	2002年10月～2004年7月		個人住宅/設計・現場監理 「新建築住宅特集(2005.3)」掲載 奈良・学園前の傾斜地に建つ、季節の歳時による行事を室内外で楽しむことのできる木造の戸建住宅。
18.(仮称)東豊中第1団地(その1)D地区　L棟建築工事	共	2002年3月～2002年10月	UR都市機構関西支社 建替計画	集合住宅/設計 都市再生機構の東豊中団地の建替え事業。建築家 遠藤剛生を中心としたマスターアーキテクト方式による街づくりが実施され、そのうちの集合住宅1棟の設計を担当。
19.暮雪荘・新築工事	共	2002年2月～2003年6月		個人住宅/第30回hiroba作品賞 設計・現場監理、「住宅建築(2006.12)」掲載 滋賀県比良山系の麓の雑木林に囲まれ、敷地内の樹木の保存をテーマとした木造の戸建住宅。
20.生野東地区住宅建設基本整備計画(B１・2地区)	共	2001年11月～2003年9月	大阪市住宅局建設部	集合住宅/基本計画・設計 大阪市の密集市街地整備のモデル事業として、国の補助事業である住宅市街地総合整備事業を活用し、住環境の改善と防災性の向上を図るための道路や公園、集合住宅建設の基本計画。IAO竹田設計との共同プロジェクト。
21.生野南部地区改良事業地区・基本計画	共	2000年8月～2002年10月	大阪市住宅局建設部 (都市再生住宅等整備事業)	集合住宅建設のための地区計画/基本計画 大阪市の密集市街地整備のモデル事業として、地元の「まちづくり協議会」と連携して地域参加型ワークショップ方式を導入し、地域住民との協働で住宅地区改良事業の全体計画を策定。IAO竹田設計との共同プロジェクト。
22.志賀町のすまい・新築工事	共	2000年7月～2001年5月		個人住宅/設計・現場監理 「新建築住宅特集(2002.6)」掲載 農作業を楽しみながら住まう木造の戸建住宅。菜園とのつながりを密接にするための土間空間（食堂＋キッチン）がある。
23.平野郷地区まちなみガイドライン・モデル案作成	共	2000年1月～2000年3月	大阪市住宅局建設部	戸建住宅の新築・建替モデル設計/計画 国の補助制度「街なみ環境整備事業」を活用した、大阪市のHOPEゾーン事業。歴史的・文化的な地域の特性を活かしたまちづくりのための、建物の外観デザインや色彩等についてのルールを策定。
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.バーミヤーン遺跡保存事業概報 －2013年度（第11次ミッション）－	共	2015年2月27日	独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター	アフガニスタン文化遺産調査資料集 概報第7巻 補遺：バーミヤーン博物館・文化センター，pp.59～64，p.81
2.講演会シリーズ 「シルクロードの文化と建築」	共	2015年～継続中	武庫川女子大学出版部	記録冊子（第1～2回）の編集 ポスター・新聞広告デザイン 講演会の準備、運営など 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻主催/共催 東京センターのシルクロードをテーマに掲げた講演会シリーズの開催に伴う準備の他、一切を岡崎甚幸教授の下で担当。
3.講演会シリーズ「わが国の近代建築の保存と再生」	共	2011年～継続中	武庫川女子大学出版部	記録冊子（第1～14回）の編集 ポスター・新聞広告デザイン 講演会の準備、運営など 武庫川女子大学 建築学科・建築学専攻主催/共催 東京センターの近代建築をテーマに掲げた講演会シリーズの開催に伴う準備の他、一

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
				切を岡崎甚幸教授の下で担当。
６．研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2022年～現在	兵庫県建築士会
2.2019年～現在	日本造園学会
3.2015年～現在	文化遺産国際協力コンソーシアム
4.2009年～現在	日本建築学会